

# 目標設定シート (2009年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	統括部局：評価情報分析室	担当部局：学長室・評価情報分析室
<b>大項目</b>	<b>14 内部質保証</b>	
<b>中項目</b>		
<b>小項目</b>	14.0.1 大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか。	
<b>要素</b>	自己点検・評価の実施と結果の公表 情報公開の内容・方法の適切性、情報公開請求への対応	
<b>小項目</b>	14.0.2 内部質保証に関するシステムを整備しているか。	
<b>要素</b>	内部質保証の方針と手続きの明確化 内部質保証を掌る組織の整備 自己点検・評価を改革・改善に繋げるシステムの確立 構成員のコンプライアンス（法令・モラルの遵守）意識の徹底	
<b>小項目</b>	14.0.3 内部質保証システムを適切に機能させているか。	
<b>要素</b>	組織レベル・個人レベルでの自己点検・評価活動の充実 教育研究活動のデータ・ベース化の推進 学外者の意見の反映 文部科学省および認証評価機関等からの指摘事項への対応	

## ○2009年度からの目標

1. PDCAサイクルを強化する。特にAction（改善）について強化する。
2. 内部質保証に必要なデータを確定し、毎年収集するとともに情報の提供を行う。
3. 検証可能な「目標」「指標」を設定し、毎年的確な自己点検・評価を実施するとともにその結果を公表する。
4. 2回目の機関別認証評価において適格の評価を受ける。
5. 各専門職大学院（専攻）が2回目の分野別認証評価において適格の評価を受ける。
6. 内部質保証システムの理解者を増やす。

## ○指標

1. 学内第三者評価によるPDCAサイクル強化の評価、改善に関する調査、院長総括の反映状況
2. 大学基礎データの数、基本的な指標データの数、その他データの数、研究業績データベース各項目における研究成果の公表件数
3. 自己点検・評価の実施と結果の公表、実施部局数、実施項目数
4. 認証評価の結果内容、勧告・助言の数、指摘事項の改善の状況
5. 認証評価の結果内容、勧告・助言の数、指摘事項の改善の状況
6. 評価関係研修会・講演会等への参加者数（私大連研修には2013年度までに累計15人を目標とする）